



TBS テレビ 2017 年度入社式

4月3日午前10時から、TBSテレビの2017年度入社式が行われ、武田信二社長ほか幹部が出席、新入社員の門出を祝福しました。

■ 新入社員数

31名(アナウンサー3名、技術4名、デザイナー2名、一般20名、キャリア採用2名)

■ 武田信二社長 挨拶

入社おめでとうございます。今日から、皆さんは、私たちの仲間です。そして、昨日までの学生生活と違って、社会人生活に入ることです。TBS テレビは報道機関でもあります。自己規律のある、倫理観の高い社会人になっていただきたいと思います。

歓迎の言葉として、二つのお願いがあります。一つは、感謝です。皆さんが、ご両親、ご家族、友人あるいは先生のおかげでここまで育ち、この場にいるということに自覚してください。社会人になってからも、いろいろな方々と接します。関係する人々に対する敬意・リスペクトを持って接していただきたいと思います。そうした感謝の気持ちを持って社会人生活を送っていけば、道は拓けると思っています。

もう一つは、チャレンジです。挑戦する心を忘れないでいただきたいと、強く思います。先週の3月30日、豊洲で劇場をスタートさせました。客席が回るという、素晴らしい劇場です。演劇関係者も数多くいらっしゃって、興奮しておりました。客席が回ることによって、舞台が自由に使える、演出の想像力をかきたてる劇場だと、絶賛しておりました。この劇場を、最低4年間、豊洲で運営します。4年間ということですから、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの後まで行うわけです。日本の文化をTBSが豊洲から発信すると、こういうチャレンジングな仕事をした先輩が、TBSにはいます。

皆さんが書いた「私のやりたいこと」を一生懸命読みました。こうした初心を必ず実現すべく先輩たちからあらゆる知識を吸収し、ノウハウを吸収し、方法論を確立して、夢を実現させていただきたいと思います。TBSは大変楽しく働き甲斐のある会社です。これは確信をもって言えます。とにかく元気で楽しい会社にしてください。TBSを作るのは皆さんです。ぜひ一緒にがんばっていきましょう。今日は本当におめでとうございます。

以上